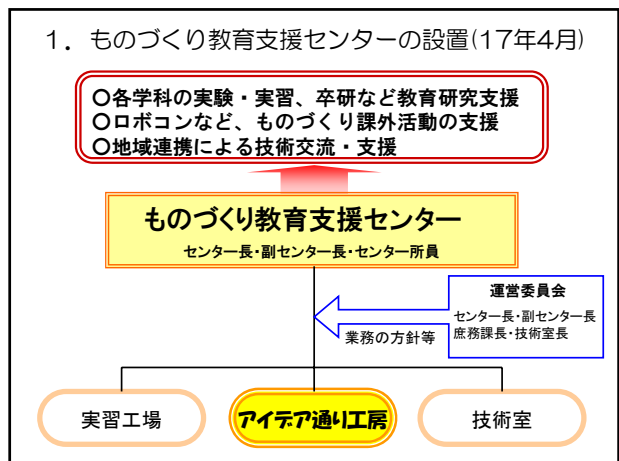


### 3 学校説明資料

#### (1) 学校運営の現況報告(校長)

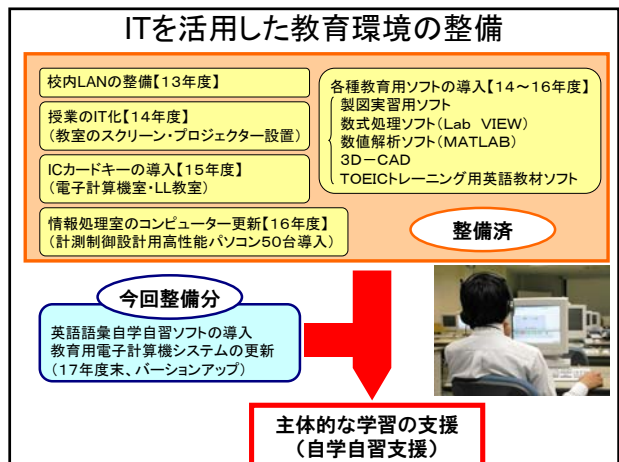
# 学校運営の現況報告

平成17年10月20日  
新居浜工業高等専門学校



## 2. 学習環境の整備

- ITを活用した教育環境の整備
- アイデア通り工房の整備
- 普通教室の空調機整備



## 現代GP(平成17年度)に採択

『現代的教育ニーズ取組支援プログラム』

e-learningによる創造性豊かな実践的技術者育成コースの開発  
—高専IT教育コンソーシアムによる協力プログラム(参加12高専)—

【創造性教育の三つの柱】

- プロジェクトの立案・管理ができる能力の育成
- プレゼンテーション能力の育成
- 知的好奇心の高揚(インターネット上の膨大な教育資源を活用)

全国規模のコンパ    学生間の交流

3年計画

- ソフト開発、コンテンツ作成
- e-learning授業の実施・評価・改良
- 全国高専への展開準備

## アイデア通り工房

学生、教員及び地域住民から地域環境の向上に役立つアイデアの発想を求め、その実現に向けた取組を本校の中心に広げていく中で、本校と地域の活性化を図るとともに様々なプロジェクトの推進を通して学生に問題設定とその解決能力を付与することを目的とした、「新居浜高専アイデア通り」構想を学内全組織で進めている。この構想を円滑に推進し、そのほかに講義、ロボコン等の課外活動、体験学習等の各種イベントに多面的に共同利用する施設として整備したものの。

～利用状況～

- ト・リ・コン! 鳥人間コンテスト選手権大会に向けて、飛行機を製作する。
- ロボコン NHKロボットコンテストに向けて、アイデアの立案、ロボットの製作をする。
- 校内案内システム製作 最新の科学技術を駆使した校内案内システムを製作する。
- 寝台入浴装置の落下防止具の製作プロジェクト 身体の不自由な人のために製作する。

## 普通教室の空調機整備



普通教室(27)のうち空調機未整備分(20)の計画的な整備

(計画)

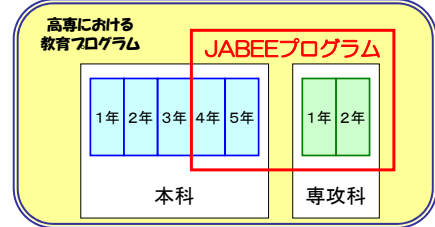
17年度……………6教室  
18年度以降…14教室(3~4年計画)

今後の課題

- ・ 省エネルギーの一層の推進
- ・ 電気料金の増加に係る対応

3. 日本技術者教育認定機構 (JABEE)による教育プログラムの認定について  
認定数 97機関(70大学, 27高専) 186プログラム 【平成16年度まで】

目的	認定基準
統一的基準に基づいて高等教育機関における技術者教育プログラムの認定を行い、その国際的な同等性を確保するとともに、技術者教育の向上と国際的に通用する技術者の育成を通じて社会と産業の発展に寄与すること	学習・教育目標 学習・教育の量基準 教育手段(入学者選抜方法、教育方法、教育組織) 教育環境(施設・設備、財源、学生への支援体制) 学習・教育目標の達成 教育改善(教育点検システム、継続的改善)



## 新居浜高専の教育プログラム

生物応用化学プログラム  
(生物応用化学科、生物応用化学専攻)

16年5月認定  
17年10月中間審査

「生産・品質管理部門、研究開発部門、技術営業部門などのグループリーダーまたはプロジェクトリーダーとなって貢献できる人材を養成します。」

システムデザイン工学プログラム  
(電気情報工学科(電気工学科)、電子制御工学科、電子工学専攻)

17年10月受審

技術者に必要な倫理観と新しいシステムを設計・構築するデザイン能力を身につけ、ものづくりを通して社会貢献できる人材を養成します。

生産工学プログラム  
(機械工学科、材料工学科、生産工学専攻)

17年11月受審

環境への影響や循環型社会を配慮しつつ、与えられた制約条件の下での人的・物的・知的資源を有効に活用しものづくりができる、デザイン能力に秀でた技術者すなわち「資源活用型技術者」を養成します。

## 4. 地域連携活動の強化

- 地域連携活動の「基盤」づくり

新居浜高専技術振興協力会“愛テクフォーラム”の結成  
会員：企業・試験研究機関・自治体・経済団体・卒業生  
平成17年7月設置

- 地域連携による独創的研究、応用開発研究の展開

共同研究等に特化した研究施設の実現  
インキュベーション・ラボの新設(高度技術教育研究センター別館改修)

- 外部人材との連携強化

客員研究員、研究コーディネーター、地域連携アドバイザー、教育アソシエイト等の多様な人材の受入れ  
→交流の拠点づくり(「**リエ・インルーム**」の整備)

## 新居浜高専技術振興協力会の結成へ (愛テクフォーラム)

〈理念〉

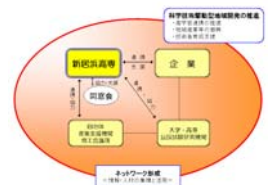
高専発社会連携活動の「**基盤**」づくり  
高専発産学官連携活動の全国発信への「**起点**」づくり  
高専発新産業創造のための「**交流拠点**」づくり

〈愛テクフォーラムの名称〉

技術をこよなく**愛**する人の集まり  
技術によって**愛**媛の発展を願う人の集まり

## 愛テクフォーラムの概要

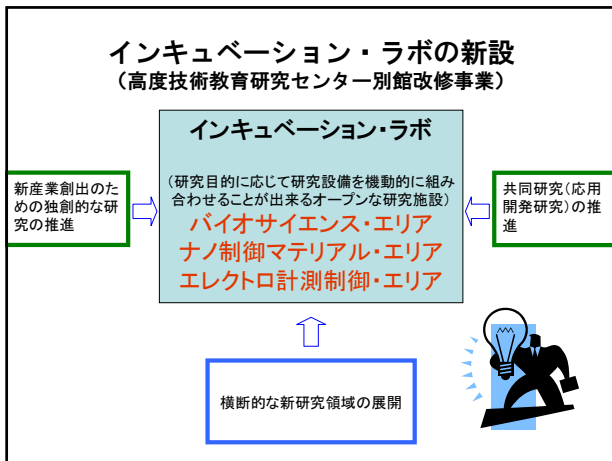
法人会員(企業) 50社  
特別会員 16団体  
一般会員 56人



- 事業計画
- 1 地域産業界等との人的交流・情報の交流
    - (1) 高専と共催で開催するシンポジウム等の実施
    - (2) 技術講演会、研究交流会、視察会等の開催
  - 2 共同研究等技術研究開発の連携推進
    - (1) 会員企業のニーズと高専のシーズのマッチングを図る
    - (2) 萌芽的研究費の補助、研究経費の支援
  - 3 リフレッシュ教育等技術者育成支援
    - (1) 出前講座の実施
    - (2) 会員企業の要請による研修会の実施
  - 4 新居浜高専の教育研究の振興
    - (1) 産学連携に関するイベントの支援
    - (2) 人材育成プログラムへの支援
    - (3) 地域連携活動への助成
    - (4) 学生教育への支援
  - 5 その他
    - (1) 愛テクフォーラムの会報の発行
    - (2) 産学連携に関する工業フェア等の通知・案内
    - (3) 新居浜高専で発行する広報誌の配布

専門部会

- 知的財産専門部会
- 人材育成専門部会
- 福祉工学研究専門部会
- バイオサイエンス研究専門部会
- マテリアル研究専門部会
- エレクトロ計測制御研究専門部会
- 情報通信・電子技術研究専門部会
- ロボット研究専門部会
- エネルギー研究専門部会



応募作品数

学生・一般の部	112
小中学生の部	185

応募作品を審査

↓

表彰

↓

実現可能な作品を製作

↓

公共な場所への展示

## シンボルロボ アイデアコンテスト

ものづくりのまち新居浜

【目的】本校が主催するシンボルロボアイデアコンテストは、学生が持つアイデアを社会に還元し、社会貢献を促すこと、また、本校が、小中学生のアイデアを応援する取り組みとして、新居浜市に「シンボルロボアイデアコンテスト」を開催すること、また、本校が、小中学生のアイデアを応援する取り組みとして、新居浜市に「シンボルロボアイデアコンテスト」を開催すること、また、本校が、小中学生のアイデアを応援する取り組みとして、新居浜市に「シンボルロボアイデアコンテスト」を開催すること、

あなたのアイデアを  
ロボットに託して

◆開催日時 7月11日(月)～12日(火) 新居浜市立市民会館(新居浜市)

◆開催場所 新居浜市立市民会館(新居浜市)

◆対象 本校生(中学生以下)と、新居浜市在住の小中学生(小学生以下)

◆応募資格 本校生(中学生以下)と、新居浜市在住の小中学生(小学生以下)

◆応募期間 7月11日(月)～12日(火) 午前9時～午後5時

◆応募方法 本校教務課(〒790-0192 新居浜市立市民会館)へ応募

◆お問い合わせ 本校教務課(TEL:0899-37-7700)

## 中学生ものづくりフェスタin松山

日時 8月26日(金) 模型飛行機教室

場所 愛媛大学  
城北キャンパス

参加 生徒 38人

保護者 6人

模型飛行機教室

ガラス細工教室

電子工作教室

